

革新と挑戦で未来を想像する ティーエヌエス株式会社の

安全ルールブック

Ver 1.0 2018.09.18

TNSは、安全第一！

効率 < 安全



tns-ashiba.com

〒497-0036 愛知県海部郡蟹江町須成西3-69-1

TEL 0567-96-7331 FAX 0567-96-7332



ティーエヌエス株式会社

TNSにとって、安全第一とは？

「安全第一」の由来について

何時も口にし、現場の何処にでも表示される「安全第一」と「緑十字の安全旗」についてちょっと知識を深めましょう。

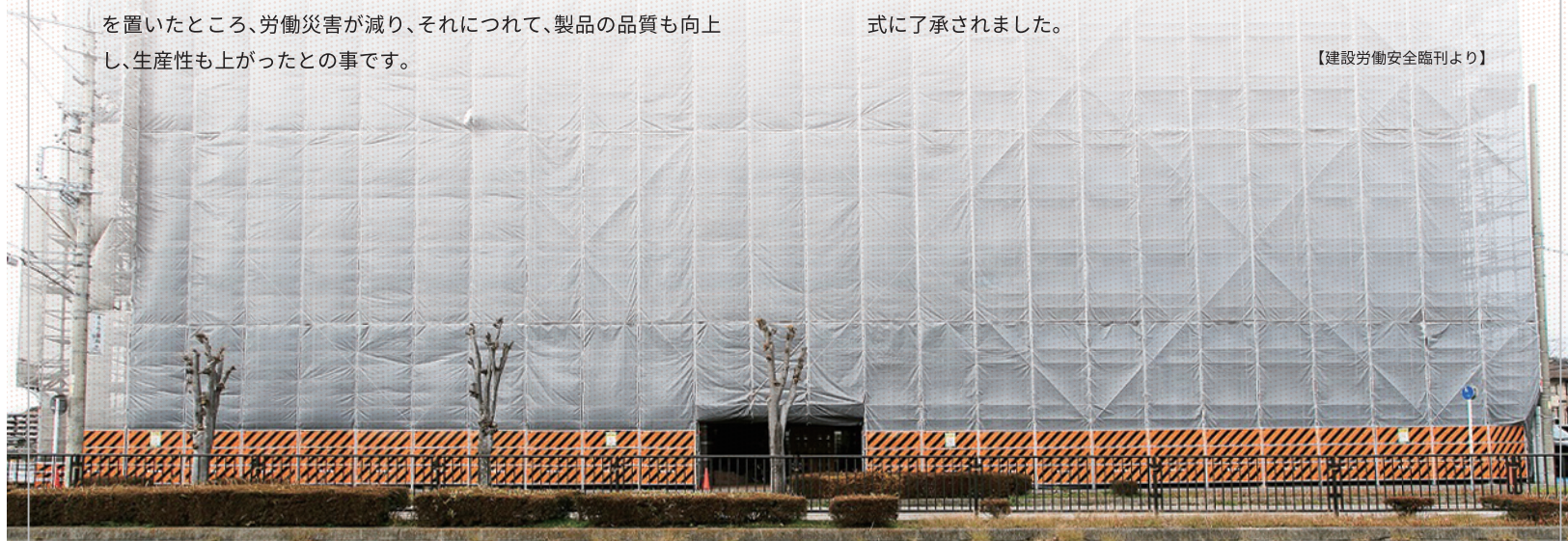
さて、「安全第一」という言葉は、1906年当時世界一の鉄鋼メーカーであったアメリカのUSスチール社のエバート・ゲーリー会長が、会社の経営方針として掲げたものです。

安全第一、品質第二、生産第三と改め、安全作業に関する施策に重点を置いたところ、労働災害が減り、それにつれて、製品の品質も向上し、生産性も上がったとの事です。

この実践的成果がアメリカ全土や欧州に影響を与え「国民安全協会」や「安全第一協会」が誕生しています。

日本では大正6年「安全第一協会」が設立され、その後、安全第一運動は全国に広まり、昭和3年、第一回「全国安全週間」が行われました。安全旗の「緑十字」は、大正8年、安全週間実施のための発起人大会で提案され、昭和2年に我が国の安全運動のシンボルマークとして正式に了承されました。

【建設労働安全臨刊より】



TNSにとって、安全第一とは？

安全第一

TNSは、社員ひとりひとりの安全を大切に考えています。

そして、“安全第一の追求”が、

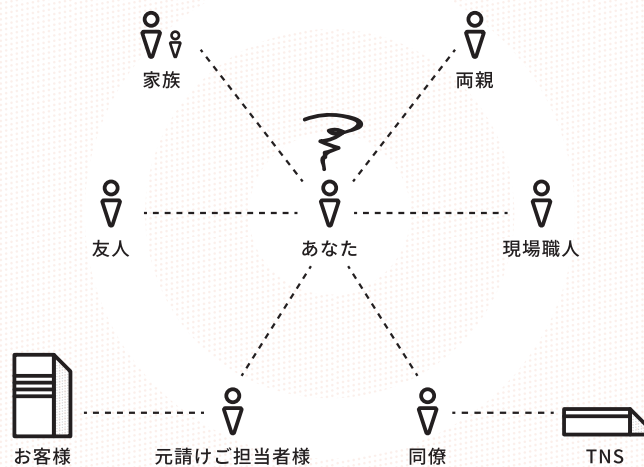
業務品質の向上に直結すると信じています。

TNSにとって、安全第一とは？

想像してみてください、

もしも、事故が起こったら...

自分だけでなく、大切な人、家族や友人を含め、
数えきれない人たちに迷惑が及び、
なにより彼らを悲しませることになります。



あなたの安全は、皆の安全、
そして毎日の幸せにつながります。

安全帯は「命綱」

高所作業を行う職人たちの命綱。

安全衛生規則においても、高さ2メートル以上の箇所での作業時にはこれを必ず使用しなければなりません。

職人の人生、家族の生活はもちろん、同僚、会社、そしてお客様にとっても重要な命綱です。

幸せは安全の上に立つものです。
社員や関わる皆様の幸せのためにも、
TNSは“安全第一”を徹底します。

TNSにとって、安全第一とは？

事故を起こした当事者だけの問題ではない、

事故によって失われるもの、奪われる時間、のしかかる負担

事故した場合に費やす時間

事故は起こした人だけの問題ではなく、あまりにも多くの人に多大な心配や迷惑をかけ、その人たちの時間を奪ってしまうのです。

ケガをした場合に現場復帰にかかる時間

ケガの治療で現場に出ることができず、治療に時間を要します。家族の心身の負担も計り知れません。

クレーム対応処理に費やす時間

事故が起これば関係各所から多くのクレームが届きます。その対応に追われ、本来やるべき仕事はできません。
また、クレームは精神的にも辛いものです。やりがいもあり楽しいはずの仕事が一変して辛いものになるでしょう。

元請信頼減による受注の減少

事故が起これば、時間をかけて築いてきたお客様との信頼も一瞬で崩壊し、多くの場合、再び信頼を回復することに今まで以上の時間が必要となります。

もちろん、事故を起こした当事者も信頼を失い、責任が問われることになるでしょう。

また、受注が減少すれば会社の売上に大きな影響を及ぼし、それは社員やその家族の生活にも影響してきます。

生産性の低下

ケガによる人員欠如やクレーム対応による作業の遅れによる生産性の低下は売上に直結します。

生産性の低下は当然、会社の売上低下につながり、社員の生活にも影響が出かねません。

消えない事故再発の可能性... だから、**安全第一の徹底**が必要！

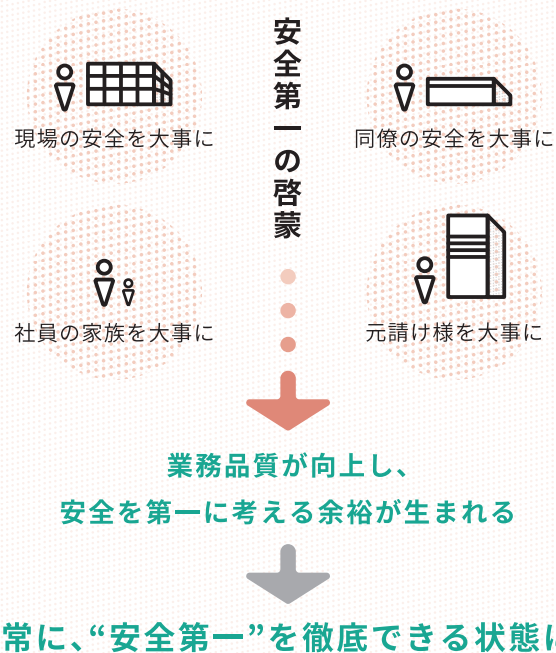
安全第一が徹底していない限り、事故は繰り返されるのです。

TNSにとって、安全第一とは？

だから、TNSは、

社員の安全を一番に考えます

社員の安全を一番に考えるということは、
同僚の安全、職場の安全につながり、
社員の家族や元請け様を大事にすることにつながります。



笑顔で無事に帰ること。
その当たり前が、幸せ。

我々の仕事は、高所で作業をする人たちが安全に作業をするために無くてはならない足場をつくることです。
つまり、現場の安全を支えるのは我々の役割なのです。
私たち自身を含めた現場の皆さんが、笑顔で無事に帰るためにも、TNSは安全第一を徹底していきます。

現場における6S活動

6S

現場における6S活動は、
職場で大きな事故が起きないための
最低限必要なルールです。

011

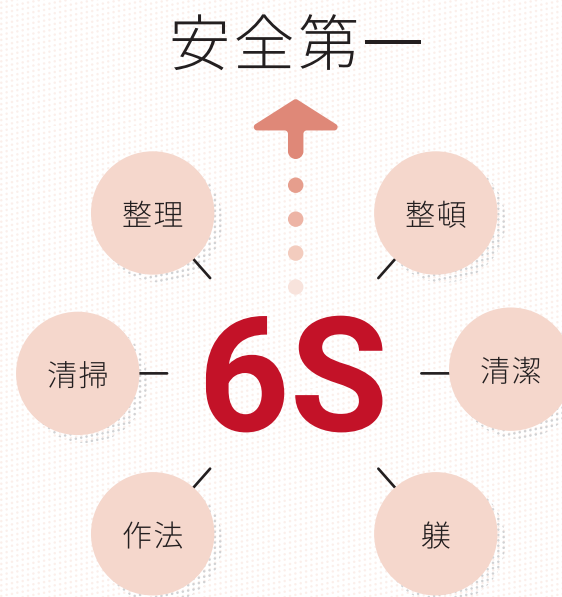
ティーエスエス株式会社

安全第一と6Sは関係する？

整理・整頓・清掃を徹底し清潔に保つことは、作業場での滑りや躓きによる転倒事故の防止や避難経路の確保に繋がります。

また、躓の観点としては、危険物の取扱基準等が守られないと、ケガや火災といった危険に繋がります。

TNSの6S活動とは、労働災害や火災等に繋がる危険の芽を摘む活動でもあり、安全の基本となるものと言えます。



TNS Co.,Ltd.

012

整理

安全第一を考えたTNSの6Sとは？

「整理」とは、要るものと要らないものに区別して、要らないものを処分することです。

不要なものが放置されれば、現場での作業の妨げになることはもちろん、それが元で大きな怪我や事故につながることも考えられます。

TNSスタッフとして、行っていく具体的な行動の例

材料を立て掛けたり、足場の上に放置せず、都度片付ける。

お客様の通路には躓いたり、邪魔にならないように片付ける。

整頓

安全第一を考えたTNSの6Sとは？

「整頓」とは、ほしいものがいつでも取り出せることです。

整理・整頓により、「何がどこにいくつあるか」が誰にでもすぐに分かり、必要なものが誰にでも取り出せ、「探す」「動かす」「運ぶ」といった「無駄」を省くことができます。

TNSスタッフとして、行っていく具体的な行動の例

材料は、置き方を考え、仕事の無駄をなくす。

皆が使いやすく、モノを探すことがないようにする。

必要な材料が取り出せるように片付ける。

清 掃

安全第一を考えたTNSの6Sとは？

「清掃」とは、汚れを除去すると同時に、汚れる原因を突き止め、排除することです。

物が汚れる原因を究明し、その根源を除去すること、これは事故の原因の究明・改善のプロセスと同じです。

TNSスタッフとして、行っていく具体的な行動の例

作業後は、きちんと清掃する。

足場の上に材料、ゴミがあれば片付ける。

ゴミ、カンはすぐにゴミ箱に捨てるか、持ち帰る。

現場まわり、その周辺に工事による汚れやゴミがあれば片付ける。

清 潔

安全第一を考えたTNSの6Sとは？

「清潔」とは、清掃した部分をその状態で保つと同時に、物理的・心理的に綺麗な空間を保つことを言います。

散らかった空間は心の乱れをあらわし、心の乱れは事故につながります。

TNSスタッフとして、行っていく具体的な行動の例

いつも綺麗な作業着を身に着け、安全靴、手袋、安全帯、ヘルメットを装着する。

奇抜な髪型は禁止。

作法

安全第一を考えたTNSの6Sとは？

「作法」とは、正しい行動ができることです。

具体的には、日常生活や業務における態度・言葉づかいなどを習慣化させ、その場に応じた適切な対応を取れるようにすることです。

安全ルールを守り、社会人として、TNS社員として、正しい行動がとれていますか？

TNSスタッフとして、行っていく具体的な行動の例

常にきちんと挨拶ができ、相手の目を見て、明るく、元気よく、気持ちのよい挨拶を心掛ける。

感謝の気持ちを忘れない。

躰

安全第一を考えたTNSの6Sとは？

「躰」とは、決められたことを正しく守る習慣づけのことです。

決められたことでも守らなければ意味がありません。現場では、手順を軽視した一人の行動が、皆の安全を脅かすものと考えましょう。

TNSスタッフとして、行っていく具体的な行動の例

手順通りに作業が常にできる。

報告、連絡、相談を常にできるように、教育する。

革新と挑戦で未来を想像する
ティーエヌエス株式会社の

安全ルール

現場における6S活動とともに
安全ルールを遵守することで、
社員、現場の安全を実現します。

01. 作業手順書に従い作業をすること。
02. 必要に応じ予め作業主任者（正・副）を選任する。
03. 足場作業は、足場組立作業主任、足場特別教育とし、作業のために足場に上がらせてはならない。
04. 作業主任者指導下で、適切な人員配置で作業を行う。
05. 18歳未満の年少者は、高さ5m以上の高所での作業を禁止とする。
06. 安全帯の着用、使用を必須とする。（二丁掛け、フルハーネス含む）
07. 作業時は、住居者、第三者の誘導を最優先とすること。
08. 作業エリアは、作業員以外は原則立ち入り禁止とし、災害防止対策をとること。
09. 玉掛作業は、有資格者を配置すること。
10. 上下作業は原則禁止とする。
11. レッカー荷上げ作業開始前までに、手順の内容を周知、徹底すること。
12. 楊重部の地上部分は、カラーコーン・バー等で区画し、立ち入り禁止とする。

- 13. 荷上げ用フックは、ロック式とする。
- 14. 荷揚げは、吊り荷を確認(地切り)し、介錯ロープを使用すること。
- 15. 小物の荷揚げ時は、こぼれ落ちないように、荷揚げ専用の網カゴを使用とする。
- 16. 足場上での小物の小運搬は、布袋、麻袋等を使用とする。
- 17. 材料手渡し時は掛け声を掛け、お互いに受け取ったことを確認してから手を離す。
- 18. 材料の取り回しは、絶対にぶつけないように注意すること。
- 19. 足場の出隅、端部は、ストッパーを2段階設置すること。
- 20. 作業床は、建物との離れ30cm未満とすること。
- 21. 作業床の隙間は3cm以下、床材と建地の隙間は12cm未満で固定すること。
- 22. 頭繋ぎ出隅部分には、火打ちを設置すること。
- 23. 渡り栈橋は昇降階段に極力近接して設置すること。
- 24. 建地の高さが、15mを超える場合は、最上部から15mより下の部分の縦地を、単管補強する。(強度計算による)

- 25. 梁枠を設置するときは、4隅の建地を単管でダブル補強し、開口部両端スパンに梁枠の幅に応じた斜材補強をすること。(強度計算による)
- 26. 壁つなぎ取り付け間隔は、2層2スパン以下とすること。(強度計算による)
- 27. 壁つなぎ施工時のドリルは、集塵機付を使用し、アンカーは躯体面より出ないように打ちこむこと。
- 28. 朝顔の上下部位は、壁つなぎを全スパンに設置すること。(強度計算による)
- 29. 朝顔は組める状態になったら直ぐ架けること。
- 30. 層間ネットは、組立進捗に合わせ、設置可能になり次第取り付けること。
- 31. 層間ネットは、ネットブラケットを使用し、35cm以上の隙間にはブラケット足を設置すること。
- 32. メッシュシートは、足場3段階毎に設置し、危険な箇所は1段毎に設置すること。
- 33. 毎日作業終了時は、徹底して片付けを行うこと。
- 34. 最大積載荷重を提示すること。(くさび足場×250kg以下、一側足場×150kg)